

令和 2 年度学校自己評価表

愛知業大学工業高等学校
全日制課程

I 学校の現況

- (1) 学校名 愛知産業大学工業高等学校
- (2) 課程 全日制課程（男子）・通信制課程（男子・女子）
- (3) 所在地 全日制課程 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山一丁目2番29号
橋校舎 〒460-0016 名古屋市中区橋二丁目6番15号
TEL：052-322-1911 FAX：052-332-3427
ホームページ：<http://www.asu.ac.jp/tech/>
メールアドレス：info-tech@asu.ac.jp
- 通信制課程 〒460-0016 名古屋市中区橋一丁目21番25号
TEL：052-322-5255 FAX：052-322-5259
ホームページ：<http://asu-tchs.jp/>
メールアドレス：asu-tchs@asu.ac.jp

(4) 沿革

- 昭和36年 前身の愛知工芸高等学校が創立する。電気通信科設置
- 昭和37年 学校名が東海工業高等学校に改称される。電気科設置
- 昭和38年 電気通信科を電子科に改称
- 昭和40年 通信制課程普通科を新設
- 昭和43年 通信制課程に電気科・機械科を増設
- 昭和54年 岩塚校舎が落成
- 昭和57年 4号館が落成
- 平成6年 家庭科実習棟が落成
- 平成12年 通信制課程校舎が落成
- 平成13年 愛知産業大学工業高等学校に改称
- 平成14年 管理棟が落成
- 平成19年 2・3号館が落成
- 平成23年 創立50周年を迎える
- 平成27年 伊勢山本校舎が落成
- 平成29年 橋校舎110周年記念アリーナが落成
- 令和3年 創立60周年を迎える

(5) 学科の構成

①電気科

電気・電子に関する基礎的な知識や技術を習得し、電気の発生から応用までを幅広く学習します。具体的には、一般住宅における屋内配線などの電気工事やモーター・発電機さらにはロボットの制御、電気計測、コンピューターまで学びます。また、第二種電気工事士をはじめとする資格取得にも力を入れています。

《目標資格》 第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士

②電子科

電気・電子における基礎知識および技術を学習。特にラジオ、テレビ、無線通信機などのしくみやパソコンの利用方法を重点的に取得していきます。また、ITパスポートや工事担任者試験などの資格取得にサポートしています。

《目標資格》 基本情報技術者、第一級アナログ通信、第二級アナログ通信、第一級デジタル通信、第二級デジタル通信、第1級陸上特殊無線技士、第2級陸上特殊無線技士

③機械科

1年生ではオルゴール製作やパソコン実習などを通して、工業人として必要な機械・電気・電子の基礎知識を習得。2年生からは機械科としての本格的な実習を重ねていき、3年生では先端技術を駆使した機械を使って実習を行います。

《目標資格》 アーク溶接技能検定、ガス溶接技能講習、旋盤技能検定

(6) 生徒数 (全日制課程) 令和3年5月1日現在

| 学年 | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|------|
| 電気科 | 194 | 62 | 54 | 206 |
| 電子科 | | 72 | 66 | 242 |
| 機械科 | 309 | 252 | 258 | 819 |
| 合計 | 503 | 386 | 378 | 1267 |

II 教育目標

- (1) 「建学の精神」：豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する
- (2) 「教育目標」：社会から歓迎される技術者の育成をめざして、電気・電子・機械に関する専門教育を実践し、時代の進展を視野に入れた基礎能力を定着させ、更に、将来のスペシャリストとして、専門の力をつけるよう教育内容の充実と改善に努めております。また、心豊かで誠実で、また積極的に努力する人材の育成を教育理念としています。
- (3) 「校訓」：感謝・礼儀・誠実・積極・努力
- (4) 「誓いの言葉」：私たちは父母のおかげで勉学する機会が与えられているからその期待にそむかず一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく勉学と修養に励み社会から喜ばれる人間になろう。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴う予定変更

- ・ 4月～5月27日（水） 休業
- ・ 5月28日（木）～6月1日（月） 分散登校
- ・ 6月2日（火）～6月5日（金） 40分×6限 時差登校
- ・ 6月8日（月） 平常授業再開
- ・ 1学期終業式 7月20日（月）→8月7日（金）
- ・ 2学期始業式 9月1日（火）→8月24日（月）

教務（学習指導）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| 1. 基礎学力の向上と定着 ○基礎・基本を徹底して学習させる。 ○授業を生徒が主体的（参加型）に取り組む授業を展開する。 ○成績不振者に対して保護者・生徒との面談を実施し、意識改革を促す。 | ○夏休み期間短縮により、例年実施の基礎学力向上講習は中止。冬は12/17（木）・12/18（金）・12/21（月）の3回実施した。 |

【自己評価及び課題等】

- 各教科と連携し、重点項目を掲げるとともに、無理のない学習計画を立て、理解しやすい所から授業を始める。
- 今後は英国数の3教科と専門教科に加え、社理の学力向上も図っていく。

| 重点項目 | 主な結果 |
|---|---|
| 2. 資格取得の奨励 ○年間予定表を配布し、積極的な受験を促す。 ○コロナの影響により、資格取得の機会が減少傾向であるが、可能な範囲で挑戦する機会を提供する。 | ○愛知県知事技術顕彰は93名が該当。ジュニアマイスターは20名が認定。（ゴールド2・シルバー6・ブロンズ12） |

【自己評価及び課題等】

- コロナの影響により、各種資格試験挑戦の機会が減少したが、ITパスポート2名、第1種電気工事士12名、情報技術検定1級3名など難易度の高い資格試験に挑戦し合格した。

| 重点項目 | 主な結果 |
|----------------------------------|---|
| 3. 教員の資質向上 ○研究授業、参観授業、現職研修の実施 | ○1学期中の参観授業は1回実施、研究授業と現職研修はコロナの影響により実施せず。2学期現職研修は10/10に実施。 |

【自己評価及び課題等】

○10/10 実施の現職研修内容

- ・普通教科：スタディサプリ（リクルート社）を利用した指導法の研究。
- ・専門教科：レーザープリンターや半自動溶接機などの新しい機器を含む、実習機器の取り扱い方法と研究。

| 重点項目 | 主な結果 |
|---------------------------|---|
| 4. 高大連携の取組み ○夏期集中講義の参加 | ○愛知産業大学が実施するオープンキャンパスに26名が参加。夏期集中講義は中止。 |

【自己評価及び課題等】

○高大連携の事業として例年実施している夏期の集中講義は、コロナの影響により中止となった。オンラインによる情報収集は可能であったが、生徒が直接大学と触れ合う機会が減ったことなどにより、愛産大への進学者が目標を下回った。

（愛産大合格者：13名）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|-----------------------|
| 5. グローバル教育の推進 ○海外インターンシップを実施し、生徒の視野を広げるとともにコミュニケーション能力・工業技術の向上を図る。 | ○ベトナム研修旅行は、コロナ禍により中止。 |

【自己評価及び課題等】 今後の実施については改めて検討する。

生徒指導（生活指導）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。 ○他者を尊重する心を育み、社会ルールを徹底して自ら考える習慣をつける。教員側から挨拶の声かけを積極的に行い予防的指導に心がける。また、遅刻多重回の生徒に対して段階的な指導する。 | ○欠席指数 R2年度 1.88 R1 (2.14) ○遅刻指数 R2年度 1.50 R1 (1.78) |

【自己評価及び課題等】

○遅刻・欠席について昨年度と比べ、やや改善傾向である。夏休みの短縮化による疲労が懸念されたが、影響は少なかった。引き続きこまめな指導を継続したい。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 2. みだしなみ 頭髪・服装指導 ○毎日、登下校時に学年主任を中心とする指導科教員が「みだしなみ指導」を実施する。 ○2か月に一度 頭髪と服装の徹底指導。 | ○服装違反は減少傾向。 ○頭髪指導は流行の髪型を好む傾向にあり、今後の課題である。 |

【自己評価及び課題等】

○服装も頭髪も違反者を放任せず、学校規則に基いてきちんと指導することが必要。

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|--|
| 3. 登下校マナーの向上および安全指導 ○自転車通学者に対して、ビデオ視聴による交通安全指導を実施する。 ○LT(ロングタイム)指導の充実 ○自転車安全安心モデル校として愛知県警主催の「自転車無事故無違反184日ラリー」に参加し、4年連続表彰を目指す。 (令和2年7月1日～12月31日) | ○金山駅付近での通学マナーについて改善を求める電話を頂く事があった。 ○一斉指導ができず、昼の放送で安全運転を呼びかけた。 ○自転車無事故無違反ラリー、4年連続の表彰を受けた。 ○自転車通学者の車両点検、保険加入、登録申請100% |

【自己評価及び課題等】

○交通法令は浸透してきているが、自宅から最寄りの駅までの間で事故が発生しており、安全運転の意識啓発について引き続き注意指導が必要。今年度はコロナの影響により一所に集めて一斉指導が実施できず、交通安全の啓発ビデオを全クラスに放送した。

生徒指導（特別指導）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 1. 問題行動防止の意識向上 ○毎月1回全校放送で生活指導放送実施。また、毎日のST(ショートタイム)で担任が物事の善悪の判断や先々を考えた行動の実践を呼びかける。 ○SNS等のネットマナーの徹底 ○4ナイ運動の徹底 ※二輪車による交通事故の防止するための運動 ①バイクの「免許を取らない。」 ②バイクを「買わない。」 ③バイクに「乗らない。」 ④バイクに「乗せてもらわない。」 | ○22名の生徒が特別指導対象となった。 ○SNSによる問題行動は減少したが、タブレット導入とともに利用マナーに対する個人情報管理のための継続指導が必要。 ○「4ナイ」違反による特別指導者なし。 |

【自己評価及び課題等】

○SNS 関連の問題行動は 4 件と少なかったが、学校生活における規範意識欠如により複数
数が特別指導の対象となった。小さな問題でも発生した時点できちんと対処し、生徒に
善悪の判断をつけさせるなど、きめ細かい指導が必要である。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 2. 被特別指導の再発をなくす。 ○特別指導後も教員が声かけ指導を実施する。 ○カウンセラーによる面談を実施する。 | ○特別指導中・仮解除後・本 解除後の三段階の指導によ り年度内再発生徒なし。 |

【自己評価及び課題等】

○問題行動生徒に対しては、本人・保護者・学校間での連携と話し合いが大切。本人へ
深い自省を促す有効な指導内容を検討して、今後も再発防止に努める。

進路指導

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|---|
| 1. キャリア教育の充実 ○1 年次より LT を利用して進路学習を実施 ○インターンシップ（2 年次 7 月） ○上級学校・企業見学（3 年次 4 月） 2. 生徒の資質向上を図る。 ○基礎学力（実力・課題）テストを実施 ○面接指導を学年・渉外・進路主任を中心に実施 | ○コロナの影響により、オリ エンテーション合宿（1 年 生）が中止。LT や ST にお ける担任指導が主となっ た。 ○コロナの影響により中止。 ○コロナの影響により中止。 ○コロナの影響により予定を 変更して実施。 ○採用試験日程の変更に伴 い、面接指導の時期も変更。 （9/15 より面接指導実施） ※採用試験は 10/16 開始。 |

【自己評価及び課題等】

○コロナにより社会が大きく変化し、就職指導にも大きな影響があったが、内定率は
100%を達成した。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 3. 進路の決定 (就職) ○学校紹介1次内定率の向上 ○学校紹介全員の内定 | ○進路状況 就職 174名 (54.9%) 進学 143名 (45.1%) ○1次内定率 84.1% (R1 90.9%) 全体内定率 100% (R1 100%) |

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|--|
| (進学) ○オープンキャンパス・学校説明会に積極的に参加させる。 ○大学合格者の増加 | ○愛産大オープンキャンパスは日程を変更して実施。他校を含め、オンラインによる方法が増加。 ○大学合格者 四年制 72名、短大 10名 R1 (合計 118名) |

【自己評価及び課題等】

- コロナによる社会の変化に対応した就職指導が必要である。
- 多種多様な入学試験方法に対応できる基礎学力の向上と面接指導の強化が必要。

生徒会

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| 1. 生徒会活動・各委員会活動の連携と活性化 ○生徒会顧問の指導により委員会活動を活性化 また、生徒会による学校生活アンケートを実施して、生徒・保護者との間に共通理解を持つ。 ○部活動の活性化 | ○コロナの影響により委員会 は人数制限を行い実施。 ○「生徒会だより」を2回 発行。 ○県高校総体及び支部予選は 中止。新人大会は実施。 |

【自己評価及び課題等】

- 2学期に委員会を開催し各委員会とも4役を選任。「生徒会だより」を発行し方針の明確化をはかった。家庭生活と学校生活の実情を把握して生徒指導に役立てる。継続した取り組みにより生徒会の活動内容を周知して自主的な参加態度を育てたい。

【主な部活動の戦績】

※愛知県夏季高等学校野球大会 準優勝 硬式野球部

※愛知県高等学校陸上ホッケー選手権大会 優勝 東海大会出場 5位／7校中

※全国高等学校選抜自転車競技大会 出場（福岡県久留米市）

トラック競技：ポイントレース予選 額額楓太（機械科2年B組） 16位／16人中

トラック競技：クスラッチ予選 久野浩大（機械科3年G組） 8位／15人中

個人ロードレース 大岩広輝（機械科3年A組） 62位／142人中

個人ロードレース 額額楓太（機械科2年B組） 73位／142人中

個人ロードレース 久野浩大（機械科3年G組） 124位／142人中

※全国高等学校少林寺拳法大会 出場（香川県善通寺市） 男子規定 組演武

宮本愛矢（機械科3年C組）／河尻 蒼（電気科3年A） 50組参加予選敗退

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|--|
| <p>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動参加の呼びかけ、および活動実績の掲示 ○「ゼロの日」に通学路清掃活動の実施 ○橘座公演の実施。 ○文化祭の計画・実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○コロナの影響により各種ボランティア活動は中止。 ○部活動生徒を中心に積極的にクリーン運動を実施。 ○コロナの影響で公演中止。 ○伊勢山・橘両校舎にて規模を縮小して実施。 |

【自己評価及び課題等】

○地域に愛される学校づくりの一環として地道に奉仕活動を展開する。

○地域に定着した行事として今後も地域とともに「橘座」を開催したい。

校務

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|--|
| <p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我ゼロを目標に施設、設備の定期点検の他、日頃からの見回りを実施して事故を未然に防ぐ。また、生徒に対し、危険因子を説明し、器物破損・事故防止の意識を高める。 ○技術の発達に対応し、魅力ある学校として必要な教材用の機械・機器の更新を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○校内設備による怪我はゼロ。引き続き安全指導を徹底し、けがや事故の発生しない環境整備を目指す。 ○校舎・施設の目視確認を実施。不備な箇所の改善に向けて取り組み中。 ○老朽化した機械・機器の入れ替えを計画。 |

【自己評価及び課題等】

○継続して安全点検を実行して安全状態を維持し、危険箇所の撲滅に努める。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| <p>2. 危機管理</p> <p>○防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。</p> | <p>○8/31 避難訓練をあいちシェイクアウトとともに実施。不審者情報対応訓練・岩塚グラウンドの風水害対策訓練はコロナの影響により規模を縮小して実施。</p> |

【自己評価及び課題等】

○大規模自然災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、速やかな避難の実践が求められる。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| <p>3. 学校環境衛生</p> <p>○校舎内外の清掃の徹底</p> <p>○ゴミの分別徹底。減量化</p> | <p>○夏休み期間業者による清掃を実施。今後は維持・管理を強化する。</p> <p>○毎日ゴミ回収に教員が立会い指導。分別の意識はあるものの、確実な実行には及んでいない。</p> |

【自己評価及び課題等】

○日々の積み重ねが結果に繋がる事を意識させる方法を検討する。

○ごみの分別や削減は生徒への指導は当然であるが、教員の意識向上も必要である。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| <p>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</p> <p>○保護者役員会を年5回実施</p> <p>○全保護者に学校行事等の案内をし、参加して頂く。</p> | <p>○第1回は書面表決による実施。2回目以降はコロナ感染予防対策を講じた方法で実施。</p> <p>年度末の保護者会懇親会は中止とした。</p> <p>○各行事は内容を変更または縮小して実施。</p> |

【自己評価及び課題等】

○保護者との信頼関係を維持するため、また生徒のために、保護者会活動を重要な位置づけとして捉えた取り組みを継続していきたい。

総務・渉外

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|------------------------|
| 1. ホームページまたは印刷物による情報の提供 ○ブログの更新 ○印刷発行物の内容の充実 | ○各学年および生徒会から各成果・結果を配信。 |

【自己評価及び課題等】

○担当業者との連絡を密にし、いち早く情報を提供できるよう工夫が必要。

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| 2. 令和3年度入学生の確保 ○各中学校との信頼関係を構築し、中学校訪問・進路（進学）説明会・見学説明会など生徒募集活動を計画的に実施する。 | ○体験入学・体験入部参加者 347名（R1：442名） ○見学説明会3回実施 (11/14,11/28,12/5) |

【自己評価及び課題等】

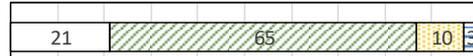
○新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、体験入学・入部・見学説明会を実施。その結果昨年度よりも多い入学者数（503名）につながった。

令和2年度 3年保護者学校評価アンケート結果

□ 十分 □ ほぼ十分 □ やや不十分 □ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



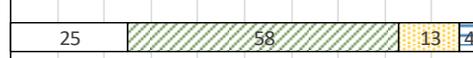
学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気良く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒が達成感を味わえるよう、実態に応じて丁寧でわかりやすい授業を行っている。



授業は生徒の進路を達成するために十分な内容である。



学校は生徒に資格取得の機会を提供し、取得することによって自信を持たせ、学習意欲を高めている。



学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に相談に親身になって対応する体制ができている。



学校は生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は生徒の進路目標の明確化に向けた適切な情報を提供している。



学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



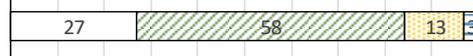
学校は体育大会などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



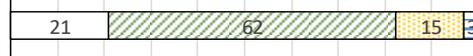
学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



学校は新型コロナウイルス感染拡大防止に対して適切に対応した。



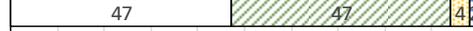
学校はホームページや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



学校は日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。

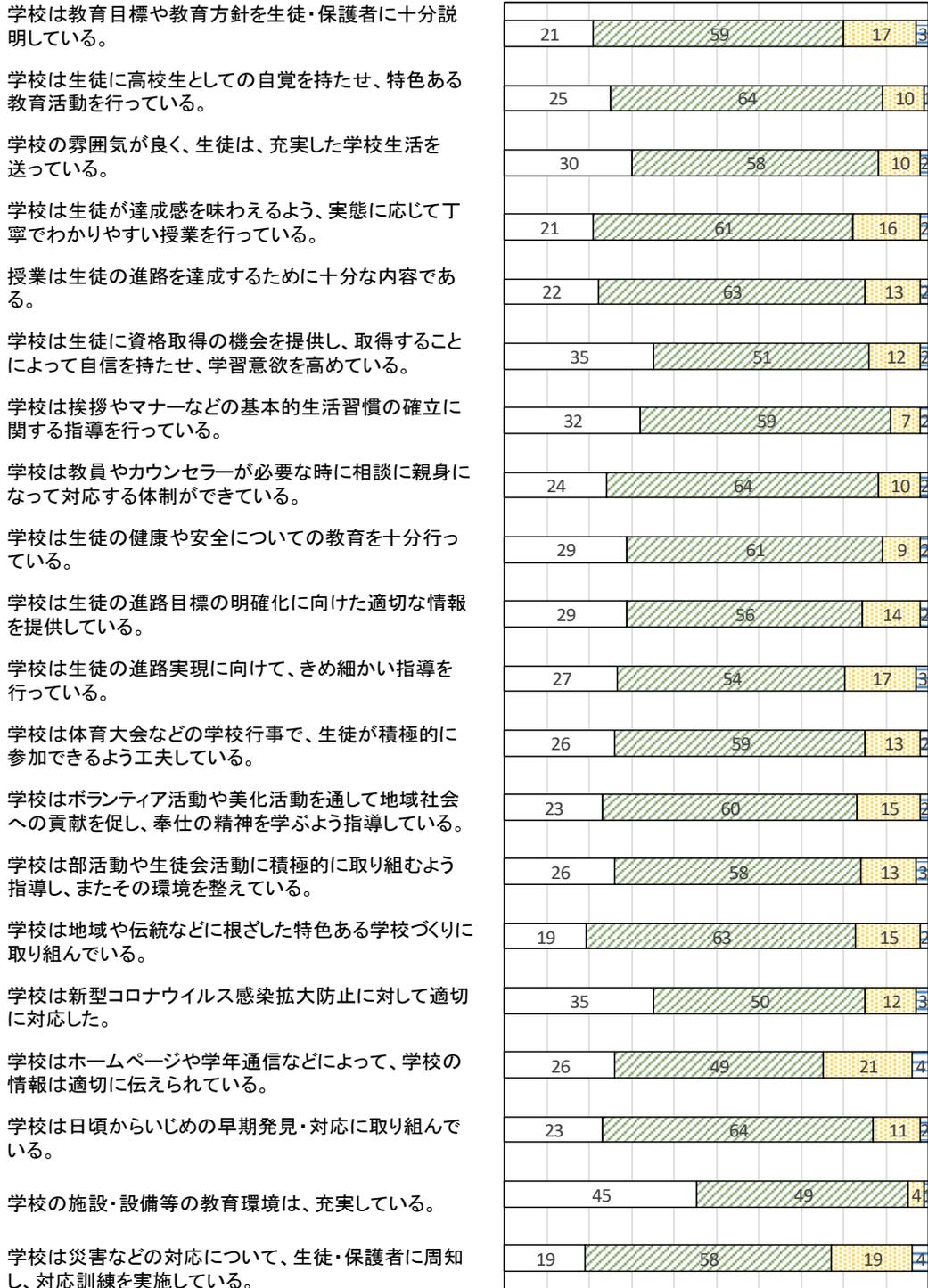


◎回答率 248 / 318 = 77.9 [%]

令和2年度 保護者学校評価アンケート結果

□十分 □ほぼ十分 □やや不十分 □不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



◎回答率 910 / 1,085=83.8 [%]